

将監峠

標高 1,795m

山行実施日
2015 年 9 月
12 日

メンバー
H高(L)、K
籐、菊T、Y
城(飯能労
山)

放射線量
(測定無し)

滝川古札沢から五十の山の一つである雁坂峠を目指そうと思った週末だったが、台風十八号が通過した直後の週末だったこともあり、将監峠を少し長めの尾根歩行周回によりアプローチすることとした。

前日夜、道の駅丹波にK籐車、Y城車二台で集合。菊TさんはY城号で早々に車中泊。男衆は例によって飲み会です。K籐さんは二日分の酒



峠にて

を飲んでしまったようだ。

翌日、朝五時に起床して三十分後に出発。ところが一ノ瀬川沿いの車道が土砂崩れのため通行止めとなっていて、やむなく大切峠からの迂回ルートを通る。下山口の三ノ瀬にK籐車をデポしてY城車で登山口の作場平橋に向かうとしたら、何とこも土砂が道路上に堆積していて通行不可。ということでもたまたまた大切峠経由で作場平橋に向かったため、かなり時間をロスしてしまった。道路には至る所冠水の跡が見受けられ、相当の豪雨だったことが伺えた。

東京都水道局によりよく整備された登山道を会話しながら登るとあつという間に笠取小屋に到着。水がふんだんに出ていて、トイレもきれいだった。

一休みしてから笠取山へ向かう。途中、富士川、荒川そして多摩川の分水嶺を経由してちよつとした急登をパスして笠取山山頂へ。この時点

ではガスが多少渦巻く感じでスカッとした晴れではなかった。

風が強いので休憩もそこそこで歩行を再開。少し歩くと本当の笠取山頂だ。一旦下って山腹を巻く感じで黒槐尾根に乗っかり、そこからは稜線上の奥秩父らしい自然林とクマザサの混交林の緩いアップダウンの稜線を歩く。

今回の最高峰、唐松尾山(1808m)は残念ながら眺望はなし。歩行再開して、「ここはお勧めですよ」とK籐さん推奨の西御殿岩への分岐ルートを通る。

ちよつとした岩場を越えて行った西御殿岩は三百六十度の眺望に恵まれた絶好のポイントだった。飛竜山、雲取山、和名倉山、西仙波と東仙波がよく見える。富士山をはじめとした遠景は残念ながら雲に隠れていたが、景色が素晴らしいのでつい長居をしてしまった。

来た道を一旦戻ってから将監峠へ

の緩い下りの道を通る。和名倉山への道を左に分け、次に三ノ瀬へのショートカットルートである七ツ石尾根ルートを見送ったら、クマザサに囲まれた穏やかな草原の将監峠に着いた。ちよつど日が差していたこともあったが、とても落ち着いた気分にはせられる。

峠から少し下ったところにある将監小屋、ここもトイレはきれいだった、で行動食をほおぼり、軽自動車も通れる登山道を会話しながら降りていく。今日はずっと話をしていたなあ。その割にはよいペースで歩きました。

三ノ瀬に到着して、道の駅丹波に併設されている「のめこい湯」で汗を流して山行は終了です。

コースタイム

作場平 7:00-7:27 一休坂分岐-8:22
笠取小屋 8:35-9:10 笠取山
9:20-10:58 唐松尾山 11:14-11:46
西御殿岩 12:14-13:07 将監峠
-13:12 将監小屋 13:38-14:49 三ノ瀬